

令和2年度事業報告書

(自：令和2年6月1日～至：令和3年5月31日)

一般財団法人 建築物管理訓練センター

令和3年7月14日

はじめに

ビルクリーニング科 1 級技能士コース・学科専攻コースを新設するなど、前年度に引き続き、既存事業の見直し・整備と新しい事業の模索・検討を進め、一部実施に移した。しかし、年明けから次第に深刻さを増していった新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、通信訓練や外国人材受入支援センター事業等が延期・縮小・中止に追い込まれ、計画した事業の未達成を余儀なくされた。ただ、コロナ禍の収束時には逸早く活動が開始されるよう、準備の業務を進めた。

認定職業訓練については、業界の未来のために訓練センターの蓄積してきた財産を引き継ぐべく、東京都の認定職業訓練制度に則り、本認定職業訓練を受講させようとする事業主を当センターの「共同職業訓練事業者」と位置づけ、定款改正によって設けた賛助会員制度との関連付けなど、当センターの事業運営の構造的な問題性について検討を進めた。

1. 認定職業訓練事業（公益）

東京都の認定職業訓練制度に則り、本認定職業訓練を受講させようとする事業主を当センターの「共同職業訓練事業者」とする位置づけを明確にした。

令和 2 年度ビルクリーニング科 1 級技能士コースについては、新たに学科専攻科コースとして本部及び 7 支部、計 10 会場で実施した。実施会場を増やしたこともあるが、受講者は増加している。

(1)ビルクリーニング科通信訓練(一級技能士コース)

1)令和元年 8 月開講・令和 2 年 7 月修了（従来のコースは以降休校とする）

①本部及び 4 支部(中部、近畿、中国、九州)で実施

②開講時受講者数：107 名

③修了者数：90 名

2)令和 2 年 6 月開講・令和 3 年 3 月修了（学科専攻科）

①本部及び 7 支部(北海道、東北、中部、近畿、中国、四国、九州)で開講

②開講時受講者数：188 名

③修了者数：166 名

(2)ビル設備管理科訓練(一・二級技能士コース)

1)1 級

①本部で開講(近畿支部は休止)

②開講時受講者数：9 名

③修了者数：9 名

2)2 級

①本部で開講（近畿支部は中止）

②開講時受講者数 2 名

- ③新型コロナウイルスの感染拡大と受講生2名とも遠方（島根、長野）で他府県移動後の2週間の自宅待機を鑑み中止とした。

2. 教育訓練事業（公益）

(1)ポリッシャー等機器操作特別講習

- 1)本部：未実施
- 2)支部：未実施

(2)エレベーター閉じ込め事故救出作業者基礎研修事業：事業廃止

(3)労働安全衛生講習及び講師派遣

- 1)労働安全衛生講習：事業廃止
- 2)講師派遣
 - ①令和2年6月～9月：野村不動産パートナーズ(株)
／建築物環境衛生管理技術者試験対策
 - ②令和2年6月～9月：大星ビル管理(株)／第三種電気主任技術者受験対策講習

(4)教育研修講師育成事業

1)ビルクリーニング

- ①指導講師中央研修
 - ・令和3年4月5日、6日に実施
- ②本部及び各支部水準調整会議
 - ・令和2年6～11月(各支部毎に実施)
- ③一級ビルクリーニング科通信訓練・添削指導講師水準調整会議
 - ・令和2年6月26日にTV会議で開催

2)ビル設備管理

- ①ビル設備管理技能検定受検準備講習・水準調整会議
 - (本部)令和2年8月4日～6日・27日開催
 - (近畿支部)令和2年8月3日～6日
- ②ビル設備管理科訓練・水準調整会議
 - (本部)令和2年11月～令和3年3月
 - (近畿支部)中止
- ③ビル設備管理初級技術者講習・水準調整会議：コロナ禍により中止

3)関係団体への専任講師派遣

全国協会、東京協会及び建築保全センター等、関係団体に専任講師及び委員として派遣

(5)ビルクリーニング基本作業動画製作事業

ビルクリーニング科実技テキストを基調に、掃き作業や拭き作業といった実技訓練の必要かつ基本となる作業のわかりやすい技能習得教材として動画製作の検討を開始した。

3. 教育訓練支援事業（公益）

(1)イベント実施事業：未参画

(2)技術情報の提供：未実施

(3)賛助会員制度設置に関する検討

制度の運用が円滑に進められるように、賛助会員特典などの内容について検討した。

4. 受検準備講習事業（収益）

全国協会が実施するビルクリーニング技能検定（一級・二級・三級）、ビル設備管理技能検定（一級・二級）、及び全国ハウスクリーニング協会が実施するハウスクリーニング技能検定（単一等級）の受検準備講習ならびにビル設備管理初級技術者講習を、下記の通り実施した。

(1)ビルクリーニング技能検定受検準備講習

1)1 級

①実施時期：令和 2 年 9 月～12 月

②実施地区：本部及び 7 支部

③受講者数：218 名

2)2 級

①実施時期：令和 2 年 10 月～12 月

②実施地区：本部及び 3 支部（中部、近畿、四国）

③受講者数：57 名

3)3 級

①実施時期：令和 2 年 10 月～12 月

②実施地区：本部及び 4 支部（中部、近畿、中国、九州）

③受講者数：55 名

(2)各都道府県協会におけるビルクリーニング受検対策講習（仮称）の開催支援

・・・未実施

(3)ビル設備管理技能検定受検準備講習

1)1 級

①実施時期：(本 部)令和 2 年 8 月 4 日～6 日、27 日 9 名
(近畿支部)令和 2 年 8 月 3 日～6 日 3 名

②受講者数：実技 12 名・学科 7 名

2)2 級

①実施時期：(本 部)令和 2 年 8 月 4 日～6 日、27 日 5 名
(近畿支部)令和 2 年 8 月 3 日～6 日 5 名

②受講者数：実技 10 名・学科 7 名

(4)ビル設備管理初級技術者講習：コロナ禍による中止

(5)ハウスクリーニング技能検定受検準備講習

1)本 部：令和 2 年 7 月 27 日～29 日／受講者数 17 名

2)近畿支部：募集中止

5. 外国人材受入支援事業（収益）

今年度は、ビルクリーニングにおける技能実習生並びに特定技能労働者の円滑な受入れが進むよう、新たな事業を企画・実施していくとともに、高度人材など他の在留資格を活用したビルメンテナンス業界への外国人材の受入れに関しても、その可能性の実現に挑戦していくこととして活動した。

外国人材、特に特定技能 1 号有資格者の円滑な受入れ及び就労支援を行うため、有料職業紹介事業への取り組みを検討した結果、定款変更を行い免許申請に着手した。

(1)普及啓発事業

1) 登録企業に「外国人材受入に関するコロナウイルス感染症の影響調査」を実施し、88 社から回答を得た。

2) ホームページのお知らせや関連情報の充実を図り、最新情報の更新に努めた。

3) メールマガジンを毎月発行するとともに、登録企業に随時関連情報のお知らせを行った。

4) 相談窓口『コロナの影響で雇用に不安がある事業者のみなさまへ』を設置した。

5) 出入国在留管理庁主催の特定技能外国人の円滑な受入れを促進するためのマッチングイベント（広報・説明会（講師派遣））に協力した。

6) JP-MIRAI 主催のベトナム人緊急就業支援プログラム・」キャリアセミナーに協力し「ビルクリーニング」を紹介した。

(2)教育研修事業

1)基礎級ビルクリーニング科実技訓練 DVD（英語、ベトナム語、インドネシア語）を作成し販売を開始した。

- 2) ビルクリーニング技能指導者講習会（eラーニング）を開催した。
（令和2年6月、7月、8月）
 - 3) ビルクリーニング技能指導者講習会（集合型）を行うための準備を進めていたが、コロナ禍の影響により中止した。
 - 4) 「緊急企画セミナー コロナ禍における外国人受入れのポイント」を企画し弁護士を講師に迎え、Webセミナーを開催した。（令和2年10月13日）
 - 5) ビルメンテナンス業界における円滑な受入れ・定着の方法考えると銘打ち、CQI（外国人文化適応力等の検査）及びSNSを活用した外国人向け社内学習やコミュニケーションを搭載したシステムを使った外国人受入れ定着についてのWebセミナー「ビルメンテナンス業界における外国人材の円滑な受入れ・定着方法を考える」を開催した。（令和2年11月19、20日）
- (3) 連携事業（マッチング事業）
- 1) 受入企業がスムーズに外国人材受入が可能になることを実現すべく、効果のある事業を行っている会社と提携し、その製品を受入企業に提供した。
e-ラーニングツールを提供する(株)soeasy、外国人向け適性検査を提供する(株)エイムソウル、賃貸物件の提供において(株)レオパレス 21 と業務提携を行った。
 - 2) ビルメンテナンス外国人材ジョブフェア
10月22日・23日を予定し準備を進めていたが、コロナ禍の影響により中止した。
 - 3) ワンストップ・サポート・サービス
外国人の教育・研修から、面接・採用、就業前技術研修、生活支援、帰国までを一貫して安定的、経済的なサービスを受入会員企業に提供するためのシステム構築を図りトライアルに取り掛かったが、対象としたミャンマーの情勢が急変したため中断を余儀なくされた。職業紹介事業と関連付けながら、他の国への適用を検討した。

6. 訓練教材製作及び販売事業（収益）

(1) ビルクリーニング関係教材販売

- 1) 下記教材については、誤植を修正して販売中
 - ① 「ビルクリーニング検定試験対策問題集(1級)」
 - ② 「ビルクリーニング科教科書(3級)」
- 2) 下記教材については受検準備講習受講者にのみ配付し、販売なし
 - ① 「ビルクリーニング検定試験対策問題集（2級・3級）」
- 3) 下記教材については、現行版を販売中

- ①「ビルクリーニング科教科書(1級・2級)」
- ②「ビルクリーニング 1級・2級・3級・基礎級」実技訓練 DVD
- ③「ビルクリーニング実技テキスト」
- ④「新時代のカーペットメンテナンス」
- ⑤「新版教育訓練の進め方」
- ⑥「清掃作業従事者研修テキストⅠ・Ⅱ」(全国協会)

4)下記教材については改訂せず、販売を中止した。

- ①「ビルクリーニング関係法令集」

(2)ビル設備管理関係教材販売

下記教材については、現行版を販売中

- ①「ビル設備管理科・1級教科書」
- ②「ビル設備管理・初級教科書」
- ③「ビル設備管理 2級実技作業 DVD」
- ④「ビル設備管理の知識と実務」

(3)ビルクリーニング講習資機材のレンタル事業

全国協会等へのビルクリーニング講習資機材の貸し出しを行った。

7. 施設管理受託事業（収益）

前年度に引き続き「産業医科大学」（福岡県北九州市）から設備運転管理業務を受託し、業務を遂行した。

新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金が福岡県より給付され、産業医科大学病院・産業医科大学若松病院の医療従事者計 31 名へ支給した。

8. 教育研修事務受託事業（収益）

全国協会が実施する医療関連サービスマーク（院内清掃業務）申請書類の指導に関する事務業務を受託した。

9. 東京オリンピック・パラリンピックへの協力

ビルメン事業共同企業体の代表団体として、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における選手村ハウスキーピング業務の受託に関わっており、令和3年2月26日に新たに覚書を締結した。実行に向けて継続対応を行っている。

10. 評議員会・理事会・委員会等の運営管理

下記の会議を適宜開催した。

- (1)評議員会 (第1回) 令和2年7月15日 (第2回) 令和3年1月20日

- (第3回) 令和3年4月28日
- (2)理事会 (第1回) 令和2年7月15日 (第2回) 令和3年1月20日
(第3回) 令和3年4月28日
- (3)監事監査 令和2年7月9日
- (4)三役会議 (第1回) 令和2年7月15日 (第2回) 令和3年1月20日
(第3回) 令和3年4月28日
- (5)ビルクリーニング教務委員会
(第1回) 令和2年6月25日 (第2回) 令和2年8月24日
(第3回) 令和2年9月28日 (第4回) 令和2年12月10日
(第5回) 令和3年2月3日 (第6回) 令和3年4月5日
- (6)ビル設備管理教務委員会
(第1回) 令和2年7月6日 (第2回) 令和3年2月12日
(第3回) 令和3年4月7日
- (7)ビルクリーニング外国人技能実習支援センター運営委員会
(第1回) 令和2年7月10日 (第2回) 令和2年9月11日
(第3回) 令和2年11月4日 (第4回) 令和3年1月21日
(第5回) 令和3年3月10日 (第6回) 令和3年4月9日

11. 組織、規程の整備

外国人材受入れ支援センターにて有料職業紹介事業を要望に応じて提供するための定款改正を行うとともに、旅費規程をはじめとする当センター諸規程類を総合的に改正し、整備に努めた。

12. 指導講師表彰

職業訓練並びに各種講習の指導を永年に亘り担当し、その功績著しい指導講師について表彰するために、10年表彰6名、5年表彰11名を顕彰した。コロナ禍により表彰式は中止した。

また、認定職業訓練において指導に携わった功績に対し、東京都産業労働局長感謝状5名が受章の栄に浴した。

13. 運営及び管理

公益目的支出計画の円滑な遂行を着実に進めるとともに、支出計画完了後の当センター存続を想定しつつ、訓練センターの財務体制及び組織運営体制の改善を内容とする「訓練センター再生計画」を策定、業界の教育訓練事業の将来構想について全国協会と共同で取り組むことについて要望をまとめた。